

令和3年度酒々井町教育委員会11月定例会議 議事録

開催日 令和3年11月26日(金)

開催場所 役場西庁舎2階第1会議室

出席委員	教 育 長	木村 俊幸	教育長職務代理者	石井 國治
	委 員	村重 浩二	委 員	林 洋子
	委 員	大塚 益子		

出席職員	教 育 次 長	七夕 夕美子		
	こども課長	清宮 美雪	学校教育課長	吉村 忠広
	生涯学習課長	鈴木 潤一	中央公民館長	佐藤 高信
	学校給食センター所長	増渕 和江	プリミエール酒々井館長	小川 裕美
	こども課主幹	伊藤 雄三	こども課主任主事(書記)	高橋 秀和

1 開会時刻 10:00

2 議事録署名委員の指名

3 議 題

(1) 議 案 (非公開)

議案第1号 令和3年度12月補正予算(案)について

(2) 報 告 (第1号は非公開)

報告第1号 青少年交流の家に係る提訴の経過について

報告第2号 行政報告について

4 次回会議の予定 12月24日(金)午後2時 西庁舎2階第1会議室

5 教育長・教育委員の予定

6 その他

7 閉会時刻 11:15

1 開会の言葉

木村教育長

ただ今より、令和3年度酒々井町教育委員会11月定例会議を開会いたします。

2 議事録署名委員の指名

木村教育長

議事録署名委員の指名を行います。本日の議事録署名委員は、大塚委員を指名させていただきます。よろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 議案

木村教育長

これから議題に入ります。本日の議事は議案が1件、報告が2件です。
はじめに、非公開とすべき議事についてお諮りします。議案第1号及び報告第1号は、町議会上程前の案件であることに鑑み、非公開にしたいと存じますが、これにご異議ございませんか。

(異議なし)

木村教育長

ご異議ありませんので、議案第1号及び報告第1号は、非公開とすることに決定しました。

それでは、はじめに議案第1号「令和3年度12月補正予算(案)について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

非公開 令和3年度12月補正予算(案)について

木村教育長

以上で、議案の審議を終わります。

(2) 報告

木村教育長

続きまして、報告に入ります。

はじめに、報告第1号「青少年交流の家に係る提訴の経過について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

非公開 青少年交流の家に係る提訴の経過について

木村教育長

次に、報告第2号「行政報告について」を議題としますが、以降の会議は公開いたしますので、ご了承願います。

まずは私からご報告いたします。

はじめに、11月3日（水）に行われました町自治功労者表彰式につきましてご報告いたします。自治功労表彰は長年、町政の発展にご尽力いただいた方々を表彰するもので、町において最高に権威ある表彰であります。本年度は4名の方々が受賞されました。このうち2名は教育委員会が推薦したもので、お一方は元健康体力づくり推進委員の鳥海房子さん、もう一方は元体育指導委員の宇田川頼子さんであります。お二方とも永年にわたるご功績が認められたものであります。誠にめでたうございます。

次に、16日（火）の小中教委連絡会議についてご報告いたします。この日は校長先生が対象で、私からは5点お話ししましたが、そのうちの2点を紹介させていただきます。

1点目ですが、13日（土）に酒々井小学校の運動会が行われ、これで3校の運動会が終了したことから、3校に共通して改善してほしいことを伝えました。具体的に申しますと、集合時の整列や「気をつけ」の姿勢がきちんとできるように指導すること。もう1つは、ラジオ体操についてです。ラジオ体操は5、6年前と比べれば大分良くなっているのですが、準備運動としての動き・動作としては合格とは言えない段階と思われましたので、正しい動きをしっかりと指導すること。さらにマ스ゲーム的視点からいえば、ばらばらでなく全員がきちんと揃うようにすること、などお願いいたしました。

「酒々井のラジオ体操ここにあり」、「酒々井の集団行動ここにあり」としたいものであります。

2点目ですが、現在策定中の第6次酒々井町総合計画やこれから策定に取りかかる第2期酒々井町教育振興基本計画における学力に関する目標値についてお話ししました。すなわち、教科の目標値の指標は現在と同じ千葉県標準学力テストとし、目標値も現在と同じく小学校は2教科の合計点が県平均より10点以上、中学校は5教科の合計点が県平均より25点上回ることにしていること。また、中学3年生の英検3級以上の取得率については、現在の目標値である50%を10ポイント上回る60%にする考えであることを話しました。当然ではありますが、教育委員会として目標達成のための有効な施策や諸事業の展開に鋭意努めて参りたいと思っております。

次に、新型コロナウイルス感染症関連について申し上げます。

感染状況ですが、児童生徒及び教職員については、前回定例会議以降本日まで感染者は発生していません。また、町全体についても10月18日（月）以降本日まで感染者は確認されておりません。まだまだ油断することなく、一人ひとりが感染予防対策をしっかり継続していくことが肝要と考えているところです。

なお、小学校の修学旅行につきましては、両校とも18日（木）にPCR検査の検体を提出し、22日（月）に提出者全員の陰性を確認し、酒々井小学校は24日（水）に出発し昨日無事帰校し、大室台小学校は昨日出発し本日夕方帰校することになっております。両校とも最高の天候に恵まれ、大きな思い出をたくさん背負って帰ったのではないかと、帰ってきてくれるものと、私としても大変嬉しく、また期待しているところです。

以上で私からの報告を終わります。酒々井小学校の運動会としすいリッチハートコンサートにつきましては、教育委員の皆様方もご出席なさっておりますので、それらも含

めて委員の皆様からのご報告いただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

村重委員

はい、議長

木村教育長

村重委員

村重委員

私は、11月13日（土）に行われた酒々井小学校運動会について報告いたします。

この日は気温12度と少し肌寒く、空は雲ひとつない良い天気でした。周りを見渡すと、木々が紅葉していてそれがとても新鮮でした。

今年のスローガンは「あきらめない その気持ちこそ 勝利への一歩」でした。

去年は応援席に新調された紅白のテントが輝いていましたが、今回は11月ですので熱中症リスクも少ないためか設置されていませんでした。記憶違いかと思いますが、去年は応援合戦がなかったように記憶しています。今年はプログラムNO. 2に応援合戦がありました。どちらも甲乙つけられない程、もちろんマスクをしているので、以前の大音量の応援には負けてしまいましたが、熱のこもった応援をしていました。応援中や集合の隊形もそうですが、生徒数の減少を見て感じられました。特に1・2年生の種目があつという間に終わってしまうことに寂しさを覚えました。

プログラム構成で去年は大きな流れとして、前半に1学年から3学年の徒競走・アイデア走・表現全種目を終え保護者の3密回避のために高学年の保護者と入れ替えをし、後半に4学年から6学年の徒競走・アイデア走・表現全種目を終えるというプログラム構成でしたが、今年は種目を絞って午前中に競技を終わらせてしまうことと、ワクチン接種も進みコロナが落ち着いてきたこともあり保護者の入れ替えがなかったことです。保護者にとっては我が子を見たいので、他市町村にみられる、片親のみというような人数制限がなくて良かったと思います。これも酒々井小学校の恵まれたグラウンドの広さとコロナ第5波が落ち着いたタイミングだと思いました。

プログラムNO. 12の「お世話になりました」は、6年生が先生方との思い出作りに良いなと思いました。そこで見られたのは、中村校長先生のフットワークの軽さでした。あの走りを見ただけで、学校運営が円滑に行われているのだろうと思いました。今年もコロナ禍でも子ども達の明るい元気な姿を見ることができました。良い思い出ができたことでしょう。コロナ禍でなければマスクをしていない子ども達の笑顔を見られたのになと思いました。驚いたのが、マスク生活が長いので、2割位の子どもの頬にはくっきりとマスクの跡がついていました。とても残念です。一昨年前のふれあい種目「えがおのきずな」のように異学年交流の要素がある種目ができる状態に戻れば良いなと思いました。

今年もコロナ禍で常にコロナ感染対策を意識しながら、日々の練習・指導していただいた先生方ありがとうございました。みんな一生懸命走っていましたが、先生方に1つだけお願いするとすれば、子ども達に正しい走り方を教えていただきたいと思います。

最後に、この場をお借りしましてPTAの方々のサポートに感謝申し上げるとともに、一日も早く通常の生活が送れ、以前のような運動会が実施できることを願っております。

以上です。

大塚委員

はい、議長
木村教育長
大塚委員
大塚委員

令和3年11月14日(日)、プリミエール酒々井文化ホールにて、しすいリッチハートコンサートが開かれました。

歌劇「椿姫」の「乾杯の歌」を演奏しながら演奏者の入場。プログラムの1番は「酒々井町民歌」。酒々井の里山の美しい写真にもうっとりしながらこの写真はどなたが撮ったのだらうと思っていると、今回の司会者でこのコンサートの立役者でいらした、鈴木真雄氏のものでした。鈴木氏は京成ホテルミラマーレの元総支配人であられ、そのご縁でミラマーレトワイライトコンサートの出演者を招いて実現したとのことでした。演奏曲は、ディズニー、トトロなどの曲から情熱的な「チャルダッシュ」まで、耳なじみのある曲ばかりで万人が楽しめるであろうプログラムでした。「アイネクライネナハトムジーク」は弦楽合奏の曲ですがピアノとフルートのみで、ヴァイオリン抜きなのにしっかりと仕上がっていて新鮮でした。プリミエール酒々井ホールの音響の良さのせいもあると思います。アンコールは「ラデツキー行進曲」で、それまでシーンと聞いていた会場全体が手拍子に包まれ、コンサートを盛り上げて終了しました。考えてみると生演奏を聴いたのは昨年1月以来です。こんなに楽しいものだったのだと改めて感慨深かったです。

11月3日(水)に町民文化祭にも参りましたが、展示作品のみでステージなどの発表のない寂しい文化祭でした。一緒になった方には「今年はお蕎麦がないですね。楽しみに来たのに。」と声を掛けられました。

今回のコンサートで久しぶりに生の音楽を届けられてホール自身も喜んでるように思いました。そしてこれから以前のようにどんどん活用されていくことを願っています。2年越しでコンサートを実現させてくださった関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。以上です。

石井教育長職務代理者

はい、議長

木村教育長

石井教育長職務代理者

石井教育長職務代理者

令和3年度第1回教育長・教育委員研修会が、コロナ感染拡大予防のため、動画配信により実施されましたので報告いたします。動画配信時間は、①基調講演が34分、②シンポジウムが55分でした。

研修内容①として、文科省の初等中等教育局情報教育・外国語教育課長兼学びの先端技術活用推進室長、板倉寛様より、学校教育におけるICTの効果的な活用と教員の資質・能力向上を演題に発表がありました。

内容は、次のとおりです。

はじめに、令和の日本型学校教育の構築を目指して、資質・能力を育むために新学習指導要領を着実に実施すること、すなわち学校における働き方改革・GIGAスクール構想が重要であり、これからの学校教育を支える基盤的なツールとして、ICTの活用が必要不可欠とされている。

G I G Aスクール構想による1人1台端末、高速ネットワーク教育・学習におけるICT活用の特性・強みを活かし、新学習指導要領の趣旨を実現することが重要である。

1人1台端末環境における教員のICT活用指導力の向上に向けて、オンラインでも活用できるコンテンツの作成や、ICT活用教育アドバイザーによる支援を行い、研修を充実させることを目指している。

G I G Aスクール構想のもとでの各教科の指導においてICTを積極的に活用することで、情報活用能力等の従来なかなか伸ばせなかった資質・能力の育成や、今までの学習方法では困難であった学習活動の実施が可能になると報告されている。

学校のICT化を支える人材支援制度として、①ICT活用教育アドバイザー②国の補助金等の活用によるG I G Aスクールサポーター③地方財政措置の活用によるICT支援員等の制度がある。

G I G Aスクール構想を通じて、学習環境を改善し、学校教育の質を高めていくためには、デジタル教科書の活用を一層推進する必要があるとされているが、現状としては学校現場において導入が進んでいないため、緊急の課題とされているとのことでした。

続いて研修②として、千葉県教育委員会教育総務課、中西健課長の司会により「県内のICT活用教育の現状と今後の展望」をテーマに、シンポジウムが開催されました。出席者は県教育委員会より3名、また保護者代表として、千葉県PTA連絡協議会会長、そして市町村教育委員会代表として、香取市教育委員会の金子基一教育長、九十九里町教育委員会の藤代賢司教育長、以上6名が出席されました。

はじめに、県教育委員会より千葉県内の現状として、教員のICT活用・指導力についてアンケートを実施しましたが、結果は、授業にICTを活用して指導する能力は全国平均70.2パーセントに対し、千葉県が72.0パーセントで17位でした。また、児童生徒のICT活用を指導する能力は、全国平均72.9パーセントに対し、千葉県が73.5パーセントで23位となっています。県教育委員会では、全ての先生が指導する力を向上し、令和6年度までに100パーセント達成することを目標として日々研鑽するとしています。

次に、金子基一教育長より香取市の取り組み状況について発表がありました。香取市では小学校16校・中学校7校が配置されています。ICT環境整備として、児童生徒1人1台端末を設置し、令和3年6月よりG I G Aスクールサポーター1名が1日1校を巡回指導しているとのこと。活用状況及び活用事例として、インターネット検索調べ学習、各自習熟度に応じたドリル学習表現ツールの活用、また非常時での校内外のオンライン授業を実施しているとのことでした。

続いて、藤代賢司教育長より、九十九里町の取り組み状況について発表がありました。令和2年12月に大容量高速通信システムを設置した後、電子黒板を全ての教室に配置し、G I G Aスクール準備委員会を立ち上げ実行委員会のもと管理部、検証部が中心となり課題解決に努め各学校の平準化を図りました。また、千葉工業大学の協力・支援のもとプログラミング教室を開催しており、タブレットの持ち帰り学習など、活用の幅を広げているとのこと。

両市町の直面している課題について、①教職員のICT活用を高める必要があること、②児童生徒の情報モラルを高める必要があること、③端末の次期更新の際財政規模から市単費の更新は厳しいこと、が挙げられました。

県教育委員会では、千葉県版G I G Aスクールサポーター配置事業として確実にIC

Tを活用した授業を推進できるように、全ての教員のICT活用指導力の向上を図ることとしています。

最後に、現場教師が自信をもって指導するために、周りの教師の協力を得たり、十分に実のある研修を受けるなど、時間を効率的に使いながら、研鑽に努めていただきたいと思います。軌道に乗れば現場にとってGIGAスクール構想も大いなる力になると考えます。

以上です。

林委員

はい、議長

木村教育長

林委員

林委員

ただ今、石井教育長職務代理者から研修会について報告がありましたが、私も動画配信を視聴して、酒々井町は、他市町教育委員会や県が話していることよりも進んでいると感じました。

学校だより等を拝見しましたが、子ども達が一斉に下校した後に、先生方とオンライン上でコミュニケーションを行っていることを知り、素晴らしいと思いました。また、昨日は中学生が午前10時頃に通学路を歩いていたので不思議に思いましたが、学校だよりを確認したところ、朝の会をオンラインで行ってから登校する計画が立てられていました。そういった点で、指導者の人材育成も進んでいますし、今回のGIGAスクールに関してもGIGAスクールサポーターを導入していただけているということと、4月当初からパソコン等の権威の方に各学校を回ってご指導いただいているということは、県が目指す先をいっています。素晴らしいと感じました。以上が研修会に参加しての感想です。

別件で、私の方からご報告させていただきます。

8月から11月にかけて、3回の就学支援委員会が開催されましたので報告します。

社会の変化とともに家庭や家族構成が多様化され、子ども達を取り巻く環境が変わってきています。そのような中、様々な障害を抱え生活している子どものニーズに合った就学先を審議する委員会です。

子ども達が自立し、しっかりと生活できるように個に応じた支援が必要になります。本人や保護者のニーズに対して、学校教育や幼児教育、医学、心理学等の視点から本人の自立、社会参加に向けて話し合いました。

1回目（8月26日（木））は、①現在通常学級に在籍し、新たに特別支援が必要とする児童、生徒について②ことばにゆがみがあるとし、言語通級指導を新規に行う・終了する児童について③小学校特別支援学級を卒業予定児童の卒業後の進学先について、審議しました。

2回目（11月12日（金））は、令和4年度の新入生について、10月に就学時健康診断が行われました。その後、お子様と保護者との面談や検査の結果をもとに審議しました。

3回目（11月19日（金））は、令和4年度の言語通級に係る児童についてです。

各小中学校では、一人ひとりの子どもの障害に応じた手厚い支援がなされております。また、中学校からは、卒業予定の生徒の進路についても報告があり、手厚い支援がなさ

れ、嬉しく思います。

今後、さらに障害の状態をみきわめ、家庭との連携を密にして、子どもの成長を見守りたいと思いました。

以上です。

木村教育長

ありがとうございました。続きまして、事務局から順次ご報告いただきたいと思います。

清宮こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

清宮こども課長

(報 告)

吉村学校教育課長

はい、議長

木村教育長

学校教育課長

吉村学校教育課長

(報 告)

鈴木生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

鈴木生涯学習課長

(報 告)

佐藤中央公民館長

はい、議長

木村教育長

中央公民館長

佐藤中央公民館長

(報 告)

増渕学校給食センター所長

はい、議長

木村教育長

学校給食センター所長

増渕学校給食センター所長

(報 告)

小川プリミエール酒々井館長

はい、議長

木村教育長

プリミエール酒々井館長

小川プリミエール酒々井館長

(報 告)

木村教育長

教育委員の皆様、事務局から行政報告がございました。

これから質疑に入ります。ご意見、ご質問等はございませんか。

石井教育長職務代理者

はい、議長

木村教育長

石井教育長職務代理者

石井教育長職務代理者

生涯学習課の関係です。11月24日(水)に酒々井町民体育館基本計画策定委員会が開催されたとのことですが、どのようなことが協議されたのでしょうか。

鈴木生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

鈴木生涯学習課長

酒々井町民体育館基本計画策定委員会は、総務課危機管理室、まちづくり課、企画財政課及び生涯学習課で開催した役場内部の委員会でございます。毎年定例的に実施し、町民体育館の施設、財源の検討等を協議しています。内部の会議であることから委員も入れ替わりがありますので、今までの経緯の確認、今後の予定等を協議しました。以上です。

石井教育長職務代理者

はい、議長

木村教育長

石井教育長職務代理者

石井教育長職務代理者

その会議では、まだ今後の具体的な話はありませんでしたか。

鈴木生涯学習課長

はい、議長

木村教育長

生涯学習課長

鈴木生涯学習課長

近々どうなるといった話はしていません。

現在、第6次酒々井町総合計画を策定しているところですが、後期の6年目から10年目の間に事業を実施できれば良いと考えており、それに向けての内部の会議でございます。

木村教育長

他に、ご意見、ご質問はございませんか。

(意見、質問等なし)

木村教育長

他に、ご意見、ご質問等ないようですので、「報告第2号」を終わります。

以上で議題を終わります。

4 次回会議の予定

木村教育長

続きまして、「次回会議の予定」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

清宮こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

清宮こども課長

次回会議の予定ですが、令和3年12月24日（金）午後2時から役場西庁舎2階第1会議室で予定させていただいております。

併せまして1月の予定ですが、1月28日（金）午後2時から同会議室で予定させていただいております。以上でございます。

木村教育長

事務局の説明のとおり、次回会議は12月24日（金）午後2時から、1月は28日（金）午後2時から行うことでよろしいですか。

（全員了承）

木村教育長

それでは、そのようにご予定願います。

以上で、次回会議の予定を終了します。

5 教育長・教育委員の予定

木村教育長

続きまして、「教育長・教育委員の予定」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

清宮こども課長

はい、議長

木村教育長

こども課長

清宮こども課長

（事務局説明）

木村教育長

事務局から説明がございました。お聞きのとおりご予定願います。

なお、令和4年1月4日（火）に仕事始め式が行われますが、例年12月28日に実施している仕事納め式は、新型コロナウイルス感染防止対策を考慮して行われませんので、ご了承願います。

以上で、教育長・教育委員の予定を終了します。

6 その他

木村教育長

続いて、「その他」を議題とします。事務局から、その他はございますか。
(事務局その他なし)

木村教育長

事務局からその他はございません。
委員の皆さんからその他はございませんか。

石井教育長職務代理者

はい、議長

木村教育長

石井教育長職務代理者

石井教育長職務代理者

余談ですが、酒々井中学校出身の坂倉将吾選手が、2021年度セントラル・リーグ
打撃部門打率第2位で、スラッガーの鈴木誠也選手に次ぎ活躍されましたので、町民に
周知するため何か企画をお考えいただければと思います。

木村教育長

ご発言ありがとうございます。坂倉将吾選手は規定打席に達したときに首位打者になり、
そろそろ打てなくなるかなと感じたときに踏み止まって、最終的にセントラル・リ
ーグの打率第2位となりましたので、酒々井町としてはもう少し誇りを持ちたいところ
です。企画として、町長との対談などが考えられますが、本人と調整する機会があれば
生涯学習課長を中心に、企画を立案していただきたいと思います。

木村教育長

他に、委員の皆さんからその他はございませんか。
(教育委員その他なし)

木村教育長

他にないようですので、以上でその他を終了します。

7 閉 会

木村教育長

以上をもちまして、本日の日程に掲げました議事は、すべて終了しました。
令和3年度酒々井町教育委員会11月定例会議を閉会といたします。

(11:15)

議事録署名 教育長

委 員

議事録作成職員
こども課